

## 平成 29 年度第 1 回経営協議会報

総務部総務課

日 時 平成 29 年 6 月 16 日（金） 13：30～16：35

### 審 議 事 項

(1) 平成 28 事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

川本副学長から、平成 28 事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、文言等の一部の修正については学長一任とすることで、了承された。

(2) 平成 30 年度概算要求事項（案）について

福治理事から、平成 30 年度概算要求事項（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、具体的な取組事項については学長一任とし、原案どおり了承された。

(3) 平成 28 年度決算（案）について

福治理事から、平成 28 年度決算（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 役員の退職手当に係る業績勘案率について

福治理事から、役員の退職手当に係る業績勘案率について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 琉球大学学長選考会議委員の選出について

福治理事から、琉球大学学長選考会議委員の選出について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

### 報 告 事 項

(1) 第 2 期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

川本副学長から、第 2 期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 上原キャンパスの移転について

須加原理事から、上原キャンパスの移転について、資料に基づき報告があった。

(3) 平成 28 年度卒業生の進路状況について

渡名喜理事から、平成 28 年度卒業生の進路状況について、資料に基づき報告があった。

### 懇 談 事 項

(1) 「地方創生に資する大学改革」の動向への対応について

福治理事から、「地方創生に資する大学改革」の動向への対応について、資料に基づき、概要や本学における取組等の説明を行った。

また渡名喜理事から、本学の現状と関連して、「琉球大学の入学者選抜における志願状況等に関する推移」について、資料に基づき、説明が行われた。

引き続き、学長から「地方大学の振興」に関し、「地方創生に資する大学改革に向けた中間報告」における今後の取組の方向性と「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画改定案」の関連等について説明を行い、地方大学が地域に貢献する上で期待する取組や今後地方大学として発展していくために必要なこと等についてご意見をいただきたいとの発言があり、これを受けて意見交換が行われた。

## 平成 29 年度第 2 回経営協議会報

総務部総務課

日 時 平成 29 年 9 月 29 日（金） 13：30～16：25

### 審 議 事 項

なし

### 報 告 事 項

(1) 法文学部・観光産業科学部改組（平成 28 年度第 4 回経営協議会 審議事項）の文部科学省審査結果について

西田理事から、法文学部及び観光産業科学部を再編し、国際地域創造学部及び人文社会学部を設置することに伴う計画の事前伺いの結果について、文部科学省より「特に意見なし」の通知があり、承認が下りた旨、資料に基づき報告があった。

また、新学部（国際地域創造学部及び人文社会学部）の特色等について説明があった。設置計画の承認が得られたことから、今後、新学部の学生募集活動ができるようになった。

(2) 国立大学法人琉球大学における学則等規則体系の見直しについて

福治理事から、国立大学法人琉球大学における学則等規則体系の見直しについて、資料に基づき報告があった。

また、平成 30 年 4 月 1 日に体系の見直し及び改正後の関連規則等を施行するため、次回以降の本会議で規則等を審議していただく予定である旨、説明があった。

(3) 平成 30 年度概算要求について

福治理事から、財務省への平成 30 年度概算要求の状況について、資料に基づき報告があった。

また、学長から、第 4 回（平成 30 年 3 月）の本協議会には政府予算案における内示額及び本学の計画予算案を示す予定である旨、補足説明があった。

(4) 平成 28 年度決算の承認について

福治理事から、平成 28 事業年度財務諸表について、文部科学大臣の承認があった旨、資料に基づき報告があった。

(5) 平成 29 年司法試験の結果について

清水法務研究科長から、平成 29 年司法試験の結果について、資料に基づき報告があった。

また、渡名喜理事から、事前に学外委員より質問を受けていた司法試験の合格者数の目標レベル及び弁護士会の支援内容等について、説明があった。

(6) 上原キャンパスの移転計画の進捗状況等について

須加原理事から、上原キャンパスの移転計画の進捗状況等について、資料に基づき報告があった。

また、事前に学外委員より質問を受けていた附属病院の移転に係る予算措置や人事など実質的な面における文部科学省の理解や支援状況について、説明があった。

(7) 連携協定等について

福治理事から、今年度上半期における本学と他の機関等との間で連携・締結した各種の連携協定等について、資料に基づき報告があった。

### 懇 談 事 項

(1) 「琉球大学の今後のあり方について ～教育・人材育成等について～」

大城学長から、「琉球大学の今後のあり方について ～教育・人材育成等～」について、前回の本協議会における懇談事項での意見を踏まえつつ、今回も意見交換を継続させていただきたいとの発言があり、資料に基づき概要や本学における取組等の説明を行った。

引き続き、各担当理事及び関係学部長から前回の本協議会における意見に対して資料に基づく説明を行った後、意見交換を行った。

また、学長から、次回の本協議会においても「琉球大学の今後のあり方について」のメインテーマの下でさらに懇談を深めていく予定である旨、発言があった。

## 平成 29 年度第 3 回経営協議会報

総務部総務課

日 時 平成 29 年 12 月 15 日（金） 13：30～16：20

### 審 議 事 項

#### (1) 国立大学法人琉球大学における学則等規則体系の見直しについて

福治理事から、国立大学法人琉球大学における学則等規則体系の見直しについて、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、事前に委員から意見のあった役割が重複するような会議等の整理については今後検討していく旨、説明があった。

#### (2) 給与法及び退職手当法の改正に伴う対応について

福治理事から、人事院勧告等に伴う、本学の職員給与規程並びに職員退職手当規程等の改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

#### (3) 平成 29 年度支出予算の執行について（案）

福治理事から、平成 29 年度支出予算の執行について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、委員から質問のあった人件費増加分（人事院勧告対応）に係る病院の対応及び病院全体の今年度予算の見通しについては、後日関係資料を送付する旨、説明があった。

#### (4) 平成 30 年度予算編成方針案について

福治理事から、平成 30 年度予算編成方針案について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、委員から質問のあった国立大学の授業料無償化に係る影響額の考慮については、今後の措置が明らかになった時点で対応を検討していく旨、説明があった。

#### (5) 千原学生寮改修及び新営に係る長期借入金の認可申請（案）について

福治理事から、千原学生寮改修及び新営に係る長期借入金の認可申請（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

### 懇 談 事 項

#### (1) 琉球大学の今後のあり方について ～ガバナンスのあり方について～

大城学長から、「琉球大学の今後のあり方について ～ガバナンスのあり方について～」について、前回の本協議会における懇談事項での議論を踏まえつつ、今回も継続して懇談を行いたい旨発言があり、資料に基づき概要や本学における取組等の説明を行った。

引き続き、意見交換を行ったところ、委員から以下のような発言があった。

また、学長から次回の本協議会においても「琉球大学の今後のあり方について」のメインテーマの下でさらに議論を深めていきたい旨、発言があった。

○18歳人口が減る一方、全国の大学は増加している。国が財政難の中、琉球大学はどのように経営していくのか。IoTやAIなどの技術革新による変革に、琉球大学はどう対応するのか。沖縄の地域特性（他府県と違い人口増で経済も良好）をどう考慮し、琉球大学が沖縄のために、どのような人材を輩出し、またどのように貢献できるのか。これらのことを共通に認識しておかなければならない。

○学生寮の入居率改善のためにクーラーを導入するとか、駐車場を有料化する等、民間企業ならすぐに考えそうなことがあまり検討されていないことに、感覚の違いを感じる。違う使命を持っている民間企業と連携し、新しい価値を生み出していくことが今必要なのではないか。

○コーポレートガバナンスと大学のガバナンスは、大きく違いはないと考える。大学の教職員（知的労働者）が現状と課題に関する認識をいかに共有するか、「知的

労働者の生産性の向上」をどう実現するかが大事である。例えば、授業科目がどのような教育上の効果があるかなどについて定量的な評価指標できちんと現状を把握する。琉球大学がどういう方向に進むのか明確になれば、教員の選考などにおいても、基準となるのではないか。

○産学連携も大事だが、大学と企業が一体的に新しい価値を生み出すような方向にある。全教員を同じ方向に向かわせるのは難しいので、先鋭的なモデルを示して、全体を引っ張る方が良いと思う。海外の若い起業家や新しい企業との連携・協力等を積極的に行ってほしい。

○メガバンクがマイナス金利の中、2万人の人員削減も検討している。またAmazonは、早く失敗してPDCAを素早く回転させる「回復力」を重視しており、このような企業が今世界を席巻している。これらの例をみると、大学も危機感を持ち、教育を変えていかなければならない。求める人材も変わっていくので、早い対応が求められる。それをリードするのは学長であるが、学長以外の教職員も皆リーダーシップを持てば変わっていくと思う。

○中小企業では、琉球大学の学生が欲しいが、お金をかけて大きな会場を借りて企業説明会を開いても、琉大生はなかなか来てくれない。今後は、参加してくれた学生をどのように社員として採用し、育成していくかが重要。中小企業にインターンシップとして来てもらい、学生側から中小企業におけるIT化で改善が必要な点を見てもらう等、中小企業のニーズと学生のマッチングができるインターンシップにできないかと考えている。

○琉球大学をどう発展させたいかという方向に沿った評価基準をつくって活動するようにした方が良い。定量的な評価基準を作っていただき、それに向けて大学活動や教育活動を評価していただきたい。

○真の大学の強みは「定量化できない暗黙知」であり、それを提案し、探り出し、社会的に引き受けていくのが大学の役割であると思う。第4次産業革命に賛成されなくても、琉球大学の教員はそういうネガティブな面も含めて真摯に考え、積極的に提案していくということをむしろ働きかけることがあっても良いのではと思う。

## 報告事項

### (1) 平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果について

川本副学長から、平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

### (2) 国立大学法人琉球大学における予算貸付について

福治理事から、国立大学法人琉球大学における予算貸付について、資料に基づき報告があった。

### (3) 上原キャンパスの移転について

須加原理事から、上原キャンパスの移転について、資料に基づき報告があった。

### (4) 連携協定等について

学長から、9月の経営協議会以降に締結された各種の連携協定等について、資料に基づき報告があった。

## 平成 29 年度第 4 回経営協議会報

総務部総務課

日 時 平成 30 年 3 月 16 日（金） 13：30～16：20

### 審 議 事 項

(1) 平成 30 年度年度計画について

西田理事から、平成 30 年度年度計画について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(2) 教職大学院の機能強化について

西田理事から、平成 31 年度に教職大学院（高度教職実践専攻）において、特別支援学校教諭専修免許状の取得を可能にする機能強化を行い、併せて入学定員増を行うことについて、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 平成 29 年度補正予算案について

福治理事から、平成 29 年度補正予算案について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 平成 30 年度計画予算案について

福治理事から、平成 30 年度計画予算案について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 国立大学法人琉球大学料金規程の一部改正（案）について

福治理事から、料金の設定等を行うための国立大学法人琉球大学料金規程の一部改正（案）について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(6) 国立大学法人琉球大学役員報酬規程の一部改正（案）について

福治理事から、非常勤役員手当を改正するための国立大学法人琉球大学役員報酬規程の一部改正（案）について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(7) 国立大学法人琉球大学経営協議会規程の一部改正（案）について

福治理事から、平成 30 年 4 月 1 日に現学長が任命する委員の任期を現学長の任期に合わせるための国立大学法人琉球大学経営協議会規程の一部改正（案）について、資料に基づき提案説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

### 報 告 事 項

(1) 平成 30 年度政府予算（案）について

福治理事から、平成 30 年度政府予算（案）について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成 28 事業年度決算剰余金の繰越承認について

福治理事から、平成 28 事業年度決算剰余金の繰越承認について、資料に基づき報告があった。

(3) 上原キャンパスの移転計画の進捗状況等について

須加原理事から、上原キャンパスの移転計画の進捗状況等について、資料に基づき報告があった。

(4) 法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラムの評価結果について

渡名喜理事から、法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラムの評価結果について、資料に基づき報告があり、また、清水法務研究科長から補足説明があった。

(5) 琉球大学開学70周年記念事業について

花城理事から、開学70周年記念事業推進体制、琉球大学開学70周年記念事業推進委員会規程及び記念事業並びに趣意書について、資料に基づき報告があった。

(6) 連携協定等について

学長から、平成30年1月以降に締結した連携協定等について、資料に基づき報告があった。

(7) 平成30年度経営協議会の開催日について

福治理事から、平成30年度経営協議会の開催日について、資料に基づき報告があった。

懇 談 事 項

(1) 琉球大学の今後のあり方について ～ガバナンスのあり方について～

大城学長から、「琉球大学の今後のあり方について ～ガバナンスのあり方について～」について、前回の本協議会における懇談事項での議論を踏まえつつ、今回も継続して懇談を行いたい旨発言があり、引き続き、意見交換を行ったところ、委員から以下のような発言があった。

○留学生への対応や教職員のためにも、人事システム上のクロスアポイントメント制度について、規程の整備だけに終わらず着実に運用していただきたい。

○海外留学へ1～2年行って、その後、琉球大学へ復学する流れをスムーズにできないかという県内高等学校からの依頼について、文部科学省としても支援したいとの回答もあったので、検討を進めていただきたい。

○在学中に留学して、帰国する4年次の夏頃には、ほとんどの就職試験が終わっているため、留学を控えるケースがあると聞いている。企業との協定などで、このような有為な人材をうまく社会が吸収してもらえるような仕組みを検討できないか。

○法律上は学長がオールマイティーになったとはいえ、学内規程や慣習等で、リーダーシップが発揮できないような環境がまだまだあるのではないかと。学長がよりリーダーシップをとりやすいように変えていかないといけない。